

アレルギー医療機関検索システムに関するログ解析調査結果

1 目的

アレルギー疾患患者等の治療ニーズや県内の地域性を把握し、今後のアレルギー疾患医療の正しい知識の普及及び情報の提供に繋げる。

また、より多くのアクセスを見込めるよう、サイトの改善等を検討するための基礎資料とする。
(サイト画面は別紙参照)

2 調査の概要

(1) サイト及び対象ログ

サイト名: 埼玉県アレルギー疾患医療拠点病院[医療機関検索]

URL: <http://allergy.saitama-med.ac.jp/search.html>

ログ: 「食物アレルギー」及び「ぜんそく」について検索ボタンを押下した時点の絞り込み履歴を対象とする。

(2) 調査期間 令和2年7月28日～令和3年6月15日(約10カ月間)

※本システムは令和元年7月10日から稼働しており、ログ解析の環境が整ったため、過去10カ月のデータ集計を行った。なお、現在も集計中である。

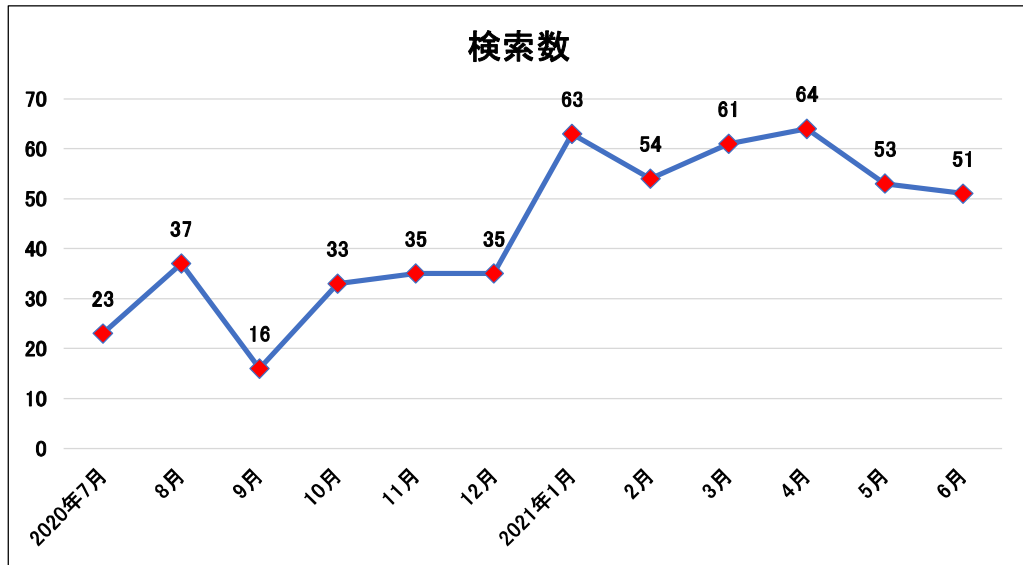
3 結果

(1) 検索数の推移

① 食物アレルギー

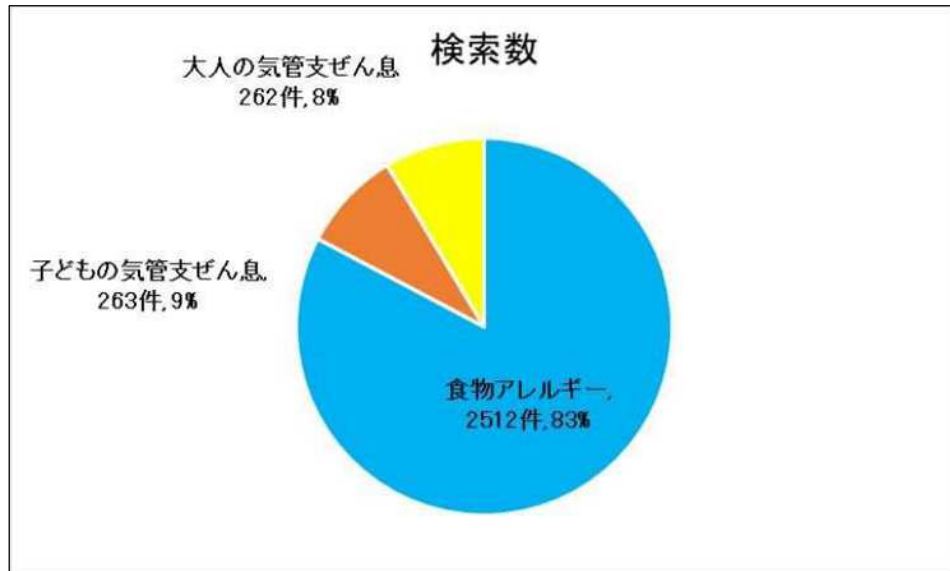


②気管支ぜん息



(2)総検索数

対象の総検索数は3037件で、そのうち「食物アレルギー」の割合は約83%、「子どもの気管支ぜん息」の割合は約9%、「子どもの気管支ぜん息」の割合は約8%であった。



(2)市町村別検索数

下記のグラフは市町村に☑を入れて検索した回数をマップグラフ化したもの。

検索数が最も多かったのはさいたま市で419件、次に熊谷市の228件、3番目が川越市の188件と続く。



(3)各種項目の検索数

①食物アレルギー

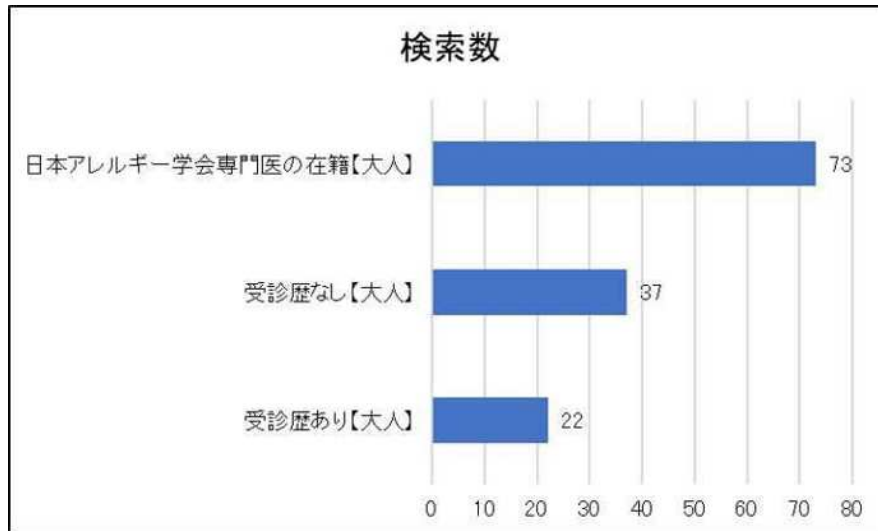
食物アレルギーの総検索数は2,512件で、そのうち外来食物経口負荷試験の実施に☑を入れて検索したのは1,204件(約47, 9%)であった。入院食物経口負荷試験の実施に☑を入れて検索したのは651件(約25, 9%)であった。

また、エピペンの処方に☑を入れて検索したのは573件(約22, 8%)であった。



②大人の気管支ぜん息

大人の気管支ぜん息の総検索数は262件で、そのうち日本アレルギー学会専門医の在籍に☑を入れて検索したのは73件(約28%)であった



③子どもの気管支ぜん息

子どもの気管支ぜん息の総検索数は263件で、そのうち日本アレルギー学会専門医の在籍に☑を入れて検索したのは25件(約10%)であった。

